

うぶやま天文台星空情報②



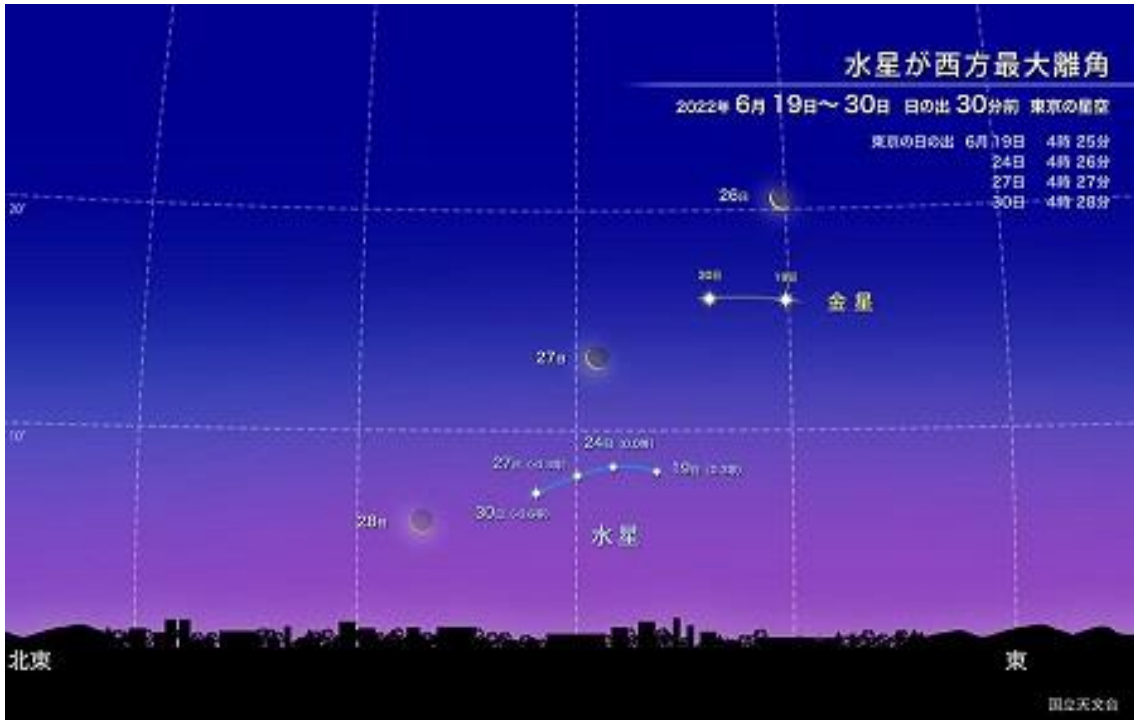
水星を探そう

(水星が西方最大離角)

天空が広がるうぶやまの高原は梅雨を迎え、不安定な天気が続いています。夜半の天気は水蒸気を帯びて霞んだような星空が続いており、すっきりしません。

今回2つ目の星空情報は、6月16日の早朝、水星が日の出前の東の空で西方最大離角（太陽から西側に最も離れる日）を迎え、肉眼で見つけやすくなることです。しかし、今回はこの日より少し後の方が、高度が高くなります。6月18日から27日までは高度が8度を超えますので、そのころが観察に適しています。

丁度この期間は、月が細くなりながら東の地平線に向かって、土星、海王星、木星、火星、天王星、金星、水星に接近する様子が観察されます。肉眼で観察できるのは、月、土星、木星、火星、金星、水星ですが、これらの惑星が斜め一直線に並び素晴らしい光景が毎日見ることができます。水星の探し方についてですが、まず明るい金星を探し、その左下を探すことです。日の出前より暗い時間帯に低空で輝いているのを見つけると見つけやすいでしょう。周りが明るくなると見つけにくいので、双眼鏡があるといいでしょう。しかし、太陽がすぐ昇ってきて、誤って双眼鏡で覗いてしまうと大変危険なので早めに観測を終わるようにしましょう。また、天体望遠鏡がある方は、正確な位置を前もって調べておけば、海王星や天王星も見ることができます。惑星たちはほぼ斜め一直線に並んでいます。これは惑星が太陽の周りのほぼ同じ平面上を公転していて、それをやはり同じ平面上にある地球から見ているためです。天気が良く毎日観察できれば、月が細くなりながら各惑星に接近し、日に日に東側に移動していくのがわかります。早朝のため観察会は実施しませんが、早起きできる方はぜひ観察されてみてはいかがでしょうか。



水星と金星の位置



水星と金星の位置